

2020年8月19日

高橋・松友ペアの今後の活動について 本会会長並びに、専務理事からのコメント

平素より、日本のバドミントン競技の普及強化にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

公益財団法人 日本バドミントン協会（所在地：東京都新宿区 会長：関根 義雄）では、日本ユニシス実業団バドミントン部の女子ダブルス高橋 礼華・松友 美佐紀ペアの今後の活動に関する会見に伴い、本会会長の関根 義雄、並びに専務理事の銭谷 欽治からコメントをお知らせいたします。

■関根 義雄 会長のコメント

この度、引退を表明されました高橋礼華選手、長きにわたる現役生活大変お疲れ様でした。

日本バドミントン界において長き目標であったオリンピックでのメダル獲得を、2012年ロンドンオリンピックにおいて女子ダブルスの先輩である藤井瑞希選手／垣岩令佳選手が獲得されました。

それに続く 2016年リオデジャネイロオリンピックでは、悲願でありました金メダルの獲得を、高橋礼華選手と松友美佐紀選手が達成され日本バドミントン界の発展に大きく寄与しました。

その後も、多くの大会での活躍し、世界国別団体戦やアジア大会においては日本チームの主将として、今日に続く世界での戦いにおいて日本選手の先頭に立ち、長く第一線で戦い続けてこられました。

これからの新たな道でも大きく活躍されることを祈願いたします。

ここまで長きにわたりご指導いただきました、ジュニア指導者、学校関係者、並びに所属先関係各位の皆様におきましても、大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

■銭谷 欽治 専務理事のコメント

タカマツペア引退に寄せて

92年バルセロナ五輪から正式競技になり、しばらく低迷していた日本バドミントン界にとって、2016年リオ金メダルに輝いたタカマツペアによって日本代表選手達が、世界へ挑戦する夜明けとなりました。

実力で掴んだ金メダルは、日本バドミントン界にとっては何事にも変えられない自信と、勇気を与え多大な貢献をしてくれ感謝しています。

今回の高橋さん引退の決断には残念な思いもありますが、よくよく考えた上での決断だったと思うので心より尊重致します。

先の事はゆっくり、考えて長い人生での益々の飛躍とご活躍を祈っています。

ここまで彼女達を支えてきて頂いたご両親をはじめ、Jr.時代から現日本ユニシスチームの全スタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。

現役を続けられる松友さんには、次の目標に向かってとにかく頑張っで欲しく思っています。

我々も日本協会として彼女達に続く選手育成に万全を期して邁進して行きます。

以上のとおりお知らせします。